令和 7 年 6 月

江南市議会厚生文教委員会会議録

6月19日

江 南 市 議 会 厚 生 文 教 委 員 会 会 議 録

令和7年6月19日〔木曜日〕午前9時30分開議

本日の会議に付した案件

議案第60号 江南市国民健康保険税条例の一部改正について

議案第61号 江南市立学校給食センター設置条例の一部改正について

議案第65号 令和7年度江南市一般会計補正予算（第3号）

第1条 歳入歳出予算の補正のうち

ふくし部

健康こども部

教育部

の所管に属する歳入歳出

第2条 地方債の補正のうち

空調設備整備事業（小学校）

空調設備整備事業（中学校）

（仮称）多世代交流プラザ整備事業

議案第66号 令和7年度江南市介護保険特別会計補正予算（第1号）

年度調査事項について

行政視察調査日程について

行政視察の調査先及び調査項目について

当委員会の研修会について

出席委員（7名）

委員長 牧野行洋君

副委員長 伊藤吉弘君

委員 掛布まち子君

委員 大藪豊数君

委員 片山裕之君

委員 石原資泰君

委員 長尾光春君

欠席委員（0名）

委員外議員（5名）

議長 中野裕二君

議員 堀元君

議員 三輪陽子君

議員 岡地清仁君

議 員 須 賀 博 昭 君

職務のため出席した事務局職員の職、氏名

事務局長 石 黒 稔 通 君 議事課長 間 宮 徹 君
主 査 伊 藤 典 子 君

説明のため出席した者の職、氏名

市長 澤 田 和 延 君

教育長 高 田 和 明 君

ふくし部長 酒 井 博 久 君

健康こども部長兼こども家庭センター長

安 達 則 行 君

教育部長 松 本 朋 彦 君

介護保険課長 栗 本 真由美 君

介護保険課主幹 影 山 壮 司 君

ふくし支援課長 稲 田 剛 君

ふくし支援課主幹 土 谷 武 史 君

ふくし支援課副主幹 大日向 仁 志 君

保険年金課長 三 輪 崇 志 君

保険年金課主幹 鈴 木 勉 君

保険年金課副主幹 岩 井 貴 臣 君

こども未来課長 向 井 由美子 君

こども未来課指導保育士 村 田 志 穂 君

こども未来課主幹 大 脇 宏 祐 君

こども未来課副主幹 中 山 享 哉 君

こども未来課副主幹 千 田 尊 義 君

教育課長 仙 田 隆 志 君

教育課主幹 源 内 隆 哲 君

教育課副主幹 岩 田 麻 里 君

学校給食課長兼南部学校給食センター所長兼北部学校給食センター所長

堀 尾 道 正 君

学校給食課副主幹 宇佐見 裕 二 君

スポーツ推進課長兼スポーツプラザ所長

稲 波 克 純 君

スポーツ推進課副主幹 岡 地 孝 浩 君

午前9時27分 開 会

○委員長 定刻より早い時間ではございますが、委員の皆様がそろいましたので、これから本日の厚生文教委員会を始めたいと思います。開会をいたします。

最初に私の挨拶をさせていただきます。

皆様、おはようございます。

本日は6月ですが、既に猛暑に入っております。皆さんも水分補給あるいは休憩の適宜対応をお願いいたします。

私はまだ議員として未熟な部分もございますが、ここにおられる委員の方々、また市当局の方々と共に、市民の皆様に少しでもよいサービスを提供すべく努力してまいる所存です。皆様の御助力をぜひお願いいたします。この1年よろしくお願いいたします。

ここで、委員会での服装ですが、時節柄、上着、ネクタイの着用につきましては、適宜お取り計らいいただきますようお願いいたします。

市長から挨拶をお願いします。

○市長 おはようございます。

去る6月5日に6月定例会が開会されて以来、連日終始慎重に御審議を賜り、誠にありがとうございます。

本日、本委員会に付託されました諸案件は、いずれも市政進展の上で重要な案件でございます。何とぞ慎重に審査をいただきまして、適切なる御議決を賜りますようお願い申し上げます。簡単でありますがお挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いをいたします。

○委員長 お願いいたします。

市長はこの後、御公務がございますので、この場で退席いたします。

本日の委員会の日程ですが、付託されております議案第60号 江南市国民健康保険税条例の一部改正についてを初め、4議案の審査を行います。

暫時休憩します。

午前9時29分 休 憩

午前9時32分 開 議

○委員長 休憩前に引き続き会議を開きます。

当委員会へ傍聴の申出がありました。傍聴については、委員会条例第18条の規定により、委員長の許可を得た者が傍聴することができるということになっております。

傍聴を許可したいと思いますのですが、御意見はありませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○委員長 御意見もないようですので、傍聴を許可します。どうぞお入りください。

それでは、これより議事に入ります。

審査の順序については付託順により行います。

委員会での発言については、会議規則第114条において、委員長の許可を得た後でなければ発言することができないと規定されています。質疑、答弁とも簡潔明瞭にお願いし、挙手の上、委員長の指名後に発言して下さるよう議事運営に御協力いただきますようお願いいたします。

また、委員外議員の発言については、会議規則第117条第2項において、委員会は、委員でない議員から発言の申出があったときは、その許否を決めると規定されています。このことから、所属の委員による質疑が尽きた後に、なお、議案の審査上必要のある場合に限り、委員の皆様にお諮りした上で、発言の許否を決めてまいりたいと考えておりますので、議事運営に御協力いただきますようお願いいたします。

なお、主幹、副主幹の方は、それぞれ担当の議案のときに出席していただき、そのほかは退席していただいても結構です。

議案第60号 江南市国民健康保険税条例の一部改正について

○委員長 最初に、議案第60号 江南市国民健康保険税条例の一部改正についてを議題といたします。

それでは、当局から補足説明がありましたらお願いします。

○保険年金課長 それでは、議案書の47ページをお願いいたします。

令和7年議案第60号 江南市国民健康保険税条例の一部改正についてでご

ざいます。

48ページには条例案を、49ページから51ページには新旧対照表を、52ページには参考資料を掲げております。

補足説明はございません。どうぞよろしく願いいたします。

○委員長　これより質疑を行います。

質疑はありませんか。

○掛布委員　本会議場でも議案質疑を聞いておりまして、今回、限度額を合計3万円引き上げて、限度額の合計が109万円というとんでもない額の限度額になる改正だということが分かりました。それで、この限度額3万円引上げによる増収分というのは幾らを見込んでおられるのでしょうか。

○保険年金課長　影響額といたしましては、令和6年度の状況で推計いたしましたところ、約461万円の増収となる見込みでございます。

○掛布委員　その461万円の取扱いですけれども、今後引き続き国保税の値上げというものが来年度以降も予定されているわけですが、その値上げ、この461万円で国保税の引上げを少しでも軽減できる、そういう見通しというのはあるのでしょうか。

○保険年金課長　今回の限度額を引き上げることも加味した税率設定になってきますので、461万円の増収についても影響が、税率のアップの抑制にはつながるとは思います。

○掛布委員　アップの抑制につながるという、ちょっと曖昧な御答弁だったんですけれども、結局、県が設定してくる、決めてくる、標準税率に近づけていくような引上げをしていく方針としてあるわけですから、この461万円の国保税収のアップというのは、結局は基金に積み立てておくというか、繰越金として予備に持つておくというか、そういう程度にとどまって、具体的にこれである程度の、本当にちゃんとただけの引下げにつながるというのはとても難しいんじゃないかと思うんですけど、どうでしょうか。

○保険年金課長　県の納付金の設定のところ、今回の限度額を加味した納付金になるかと思っておりますので、影響のほうはあるかと思っております。

○掛布委員　たった460万円では、本当にほとんど税率の引下げにはつながらないんじゃないかと思っております。

以前から、平成30年度から、安倍政権のときに国保の県単位化というのが行われて、私たち猛烈に反対したんですけれども、多分、市の当局としてもおかしいんじゃないかと思われながら、それに従ってずっとやってこられていると思うんですけれども、本当にそれをきっかけに猛烈に国保税の税率がどんだんどんだんどんだん、どこまで続くんだというぐらい値上げが続いていて、それに伴って限度額も物すごい勢いで引き上がって、ちょっと過去に遡って調べたら、もう8年から9年連続してこの限度額というのは、毎年2万円、3万円、2万円、3万円というふうには引き上がっていると思うんですけど、この間、今109万円ですけれども、県単位化前は限度額は幾らだったんでしょうか。

○保険年金課長 平成29年度の地方税の法定限度額は、医療分、支援分、介護分合わせまして、法定限度額としては89万円でございます。

○掛布委員 法定限度額は89万円ですけれども、ちょっと抑えていたんじゃないでしょうか。額としては。

○保険年金課長 江南市の課税限度額は2万円安い87万円でございます。

○掛布委員 そうするとこの8年間で、平成29年度から令和7年度まで8年しかないんですけれども、8年間で87万円の限度額だったのが、今109万円になろうとしているわけですから、22万円限度額が8年間で上がるということではよろしいですか。

○保険年金課長 委員のおっしゃるとおりでございます。

○掛布委員 本会議の議案質疑で、今年度の上がったとして109万円の限度額になる標準世帯の所得は680万円という、4人家族のモデル世帯でですね、40代、30代の夫婦と小学生2人のモデル世帯で、所得680万円の世帯が109万円の限度額に達する世帯となるという御答弁だったんですけれども、平成29年度の87万円のとき、限度額に達するモデル世帯の所得というのは幾らだったんでしょうか。

○保険年金課長 ちょっと計算をしないといけないもんですから、お時間いただいでよろしいでしょうか。

すみません、あと1点、本会議の答弁のほうでお答えしました金額のほうは、今回、限度額が上がることによって影響の出る世帯ということでございます。

ますので、106万円から109万円になるということで、106万円だった世帯の収入、所得でございます。

○掛布委員　　そうすると、109万円になるモデル世帯での所得は幾らなんでしょう。

○保険年金課長　　所得金額で申し上げますと748万5,000円、給与収入に換算いたしますと943万5,000円となります。

○掛布委員　　そうすると、いつも協会けんぽと比べてあまりにも高過ぎるんじゃないかということをお聞きしているんですけれども、協会けんぽの場合、今回の頭打ちになる748万円の所得なんですけれども、この世帯で、協会けんぽでいうと報酬月額は何になる計算になるのでしょうか。

○保険年金課長　　標準報酬月額といたしましては79万円でございます。

○掛布委員　　協会けんぽの場合だと、こんな報酬月額79万円で最高限度に達するというような、そんないわゆるとても物すごい高額世帯じゃない段階で頭打ちになってしまうんじゃないかと、ど一つともう際限なく保険料というのは上がっていく仕組みになっていると思います。

頭打ち世帯というのは、協会けんぽの場合、本当に135万円を超えるような、報酬月額がですね、そこまで上がっていくと思うんですけれども、その場合、私が昨日調べてきたんですけれども、その世帯の健康保険料は80万円になっておりました。

だから、そのいわゆる135万円で最高限度に達して払う保険料が80万円に対して、江南市の国保は、79万円の報酬月額の人に対して最高限度額109万円の国保税を課すということは、あまりにもちょっとバランスが取れていないというか、中間所得層まで最高限度を課すような、国保税が高くなり過ぎているということが、今回の引上げの、またもや出来上がっている国保税の限度額の引上げの原因だと思うんですけれども、この点はいかがですか、見解として。

○保険年金課長　　国民健康保険の法定限度額のほうは、国のほうで定められている金額になりますので、その金額について妥当かどうかという判断のほうは、市としてはちょっといたしかねます。

○掛布委員　　もう一点ですけれども、2割、5割、7割の軽減世帯の拡充と

いうのが盛り込まれているんですけれども、いわゆる対象世帯の年収、年収というか所得を1万円とか、1万5,000円とか、低所得のほうまでずらして、低所得世帯、対象の世帯の引っかかるところを拡充するわけなんですけれども、答弁聞いていて、本会議の、拡充しても、その軽減世帯の割合が何かずっと53%台、去年もその前もそれぐらいの、軽減世帯に引っかかる世帯の割合があまり変化していない。

本来だったら拡充すれば軽減に引っかかる世帯の割合がもっと増えていくのかなと思うんですけど、あまり増えてない。これはどういったところに原因があると考えられておりますか。

○保険年金課長　こちらの軽減判定の基準につきましては、物価等を加味して国のほうで算定しておりますので、物価が上がっていることによって所得も、所得水準も上がっているということで、結果的には割合のほうは変わらないということかなとは考えております。

○委員長　ほかに質疑はありませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○委員長　質疑も尽きたようでありますので、これをもって質疑を終結いたします。

暫時休憩いたします。

午前9時48分　休　憩

午前9時48分　開　議

○委員長　休憩前に引き続き会議を開きます。

議案第60号を挙手により採決いたします。

本案を原案のとおり可決することに賛成の方の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○委員長　挙手多数でございます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

議案第61号　江南市立学校給食センター設置条例の一部改正について

○委員長　続いて、議案第61号　江南市立学校給食センター設置条例の一部

改正についてを議題といたします。

それでは、当局から補足説明がありましたらお願いいたします。

○学校給食課長兼南部学校給食センター所長兼北部学校給食センター所長
学校給食課でございます。議案書の53ページをお願いいたします。

議案第61号 江南市立学校給食センター設置条例の一部改正についてでございます。

議案書の54ページに条例案を、55ページに条例案の新旧対照表を掲げております。

補足説明はございません。どうぞよろしくお願いいたします。

○委員長 これより質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○委員長 質疑もないようでありますので、これをもって質疑を終結いたします。

暫時休憩いたします。

午前9時50分 休 憩

午前9時50分 開 議

○委員長 休憩前に引き続き会議を開きます。

議案第61号を採決いたします。

本案を原案のとおり可決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長 御異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

議案第65号 令和7年度江南市一般会計補正予算（第3号）

第1条 歳入歳出予算の補正のうち

ふくし部

健康こども部

教育部

の所管に属する歳入歳出

第2条 地方債の補正のうち
空調設備整備事業（小学校）
空調設備整備事業（中学校）
（仮称）多世代交流プラザ整備事業

○委員長 続いて、議案第65号 令和7年度江南市一般会計補正予算（第3号）、第1条 歳入歳出予算の補正のうち、ふくし部、健康こども部、教育部の所管に属する歳入歳出、第2条 地方債の補正のうち、空調設備整備事業（小学校）、空調設備整備事業（中学校）、（仮称）多世代交流プラザ整備事業を議題といたします。

なお、審査方法ですが、歳入歳出一括で各課ごとに審査したいと思いますので、よろしくお願いいたします。

最初に、ふくし部介護保険課について審査をします。

当局から補足説明がありましたらよろしくお願いいたします。

○介護保険課長 それでは、議案第65号 令和7年度江南市一般会計補正予算（第3号）の介護保険課の補正予算につきまして、該当箇所の御説明を申し上げます。

初めに、歳入について御説明いたしますので、議案書の70ページ、71ページをお願いいたします。

下段の15款4項2目3節社会福祉費交付金は、地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金でございます。歳入は以上でございます。

次に、歳出について御説明申し上げますので、78ページ、79ページの下段をお願いいたします。

3款1項2目介護保険費で、補正予算額は3,655万4,000円でございます。

説明は以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○委員長 これより質疑を行います。

質疑はありませんか。

○石原委員 79ページの介護施設等整備費補助事業ですけど、この内容をちょっと具体的に教えていただけますでしょうか。

○介護保険課長 今回の交付金の内容でございますが、市が所管する5事業

所について、防災等対策の施設整備費補助事業として交付するものになります。主に5か所ございますが、小規模多機能型居宅介護の事業所について自家発電施設整備が、グループホームや小規模多機能型居宅介護に自家発電が2か所、大規模改修といたしまして、避難用デッキなどの耐震性の向上のための修繕が1件、あとグループホームと小規模多機能のほうで浴槽の外壁等の修繕といったものになります。

○石原委員　　ありがとうございます。

今、大規模改修のところの1件ですけど、これについてもう少しちょっと詳しく教えていただけますか。

○介護保険課長　　特別養護老人ホームのほうで避難用デッキを改修するものになります。

特別養護老人ホームは第2ふぁみりい恕苑というのがございまして、そちらのほうの避難用デッキの改修になりますが、洪水が発生した場合に、2階の一時避難デッキを待機場所としてヘリコプターとかで輸送するための避難場所であったり、地震等の発生の際に緊急避難する折に、リビングのほうから避難するときに利用するという形で、1階の避難経路を伝って屋上に避難するために整備するという、そういった内容となっております。

〔「まあちょっと大きい声で言って」と呼ぶ者あり〕

○介護保険課長　　申し訳ございません。大規模改修の内容につきましては、市内の特別養護老人ホーム第2ふぁみりい恕苑で修繕するものですが、地震発生時に緊急避難するための場所の確保と、洪水時に避難する場所ということで、修繕するものになります。

○委員長　　ほかに質疑はございませんか。

○掛布委員　　国への申請でもって、国がよしというふうに通らないと、これはいわゆる補助として交付されないと思うんですけども、そのいわゆる、よくこれまでも申請しても全部却下して、また次年度送りということが結構出てきたんですけども、今回の見通しはどうなんでしょうか。

○介護保険課長　　今回におきましても5件、市のほうから国のほうに協議を出していますが、国のほうからは、例年、第一次協議においては全国から多数の応募があるということで、全部は難しいというふうなお話もございます。

市としましては、国の交付金の範囲で補助をしていくという形にしておりますが、対応といたしましては、二次協議がございましたときには、再度協議をしていくというふうに考えております。

○委員長 ほかに質疑はありませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○委員長 質疑も尽きたようですので、続いてふくし支援課について審査をします。

当局から補足説明がありましたらお願いします。

○ふくし支援課長 ふくし支援課所管の補正予算につきまして、該当箇所の御説明を申し上げます。

初めに歳入について御説明申し上げますので、議案書の70ページ、71ページをお願いいたします。

中段、15款2項2目3節生活保護費補助金は、生活困窮者就労準備支援事業費等補助金でございます。

続いて、歳出について御説明申し上げますので、82ページ、83ページ上段をお願いいたします。

3款3項1目生活保護費、右側説明欄、生活保護システム改修事業で、補正予算額は69万3,000円でございます。

説明は以上でございます。どうぞよろしくをお願いいたします。

○委員長 これより質疑を行います。

質疑はありませんか。

○掛布委員 統計調査項目の見直しということなんですけれども、具体的にどこがどういうふうになるのでしょうか。

そして、今までどういうシステムでやられてきたのかも含めて説明していただきたいと思います。

○ふくし支援課長 統計調査項目の見直し内容でございますけれども、月次調査と年次調査の見直しがございました。月次調査の中では、被保護者調査の入力とか審査のエラーチェックプログラムの修正が入っております。

あと、併せて月次調査と年次調査の一部で、項目の削除がございました。こちらが修正内容でございます。

○委員長　ほかに質疑はございますか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○委員長　質疑も尽きたようでありますので、続いて健康こども部こども未来課について審査をします。

当局から補足説明がありましたらお願いします。

○こども未来課長　それでは、こども未来課所管の補正予算について御説明いたします。

初めに、議案書の66ページをお願いいたします。

第2表　地方債補正、下表の1段目、（仮称）多世代交流プラザ整備事業でございます。

次に、歳入でございます。

議案書の70ページ、71ページをお願いいたします。

上段、14款1項2目2節児童福祉使用料、右側説明欄、保育所保育料でございます。

下段をお願いいたします。

15款4項2目1節児童福祉費交付金、右側説明欄、次世代育成支援対策施設整備交付金でございます。

72、73ページをお願いいたします。

上段、16款2項2目2節児童福祉費補助金、右側説明欄、第二子保育料無料化等事業費補助金でございます。

下段をお願いいたします。

22款1項2目2節児童福祉債、右側説明欄、（仮称）多世代交流プラザ整備事業債でございます。

次に、歳出でございます。

少し飛んでいただきまして、80ページ、81ページをお願いいたします。

3款2項1目こども保育費でございます。内容につきましては、81ページの説明欄をお願いいたします。

最上段、人件費等、その下、子育て支援施設整備等事業のうち、児童館（（仮称）多世代交流プラザ）整備事業は財源更正をお願いするものでございます。

補足説明はございません。どうぞよろしくお願いいたします。

○委員長 これより質疑を行います。

質疑はありませんか。

○長尾委員 すみません、1点だけ教えてください。

81ページの多世代交流プラザの整備事業の財源更正なんですけど、財源更正前は地方債が組んであって、今回、国からの交付金が出るということなんですけど、これって予定外に入ってきたお金ですか。当初計画であれば、通常、地方債なんかを打たずに一般財源から予算組んでおいて財源更正するというのがこれまでかなと思っていたんですけど、今回地方債が組んであったので、ちょっと気になったのでお聞きしました。

○こども未来課長 今回の地方債の部分でございますけれども、国からの内示が出ていない状況でしたので、当初の予算では組んでおらず、今回、内示が国からいただけることを踏まえて財源更正させていただくものでございます。

○委員長 ほかに質疑はありませんか。

○掛布委員 すみません、第二子保育料無料化等事業費補助金ですけれども、これまで県の第3子以降の無料化事業をやっていたのが、県が第2子保育料の無料化事業を10月からやるということで、江南市も乗るということなんですけれども、この江南市も一緒にやることによって、いわゆる無料、全額払っていた人が無料になると、半額だった人が無料になると、いろんなケースがあるんですけれども、いわゆる半額からゼロになる人、全額払っていたのがゼロになる人、半額になる人というのは、区分けすると何人ずつになるんでしょうか。

○こども未来課長 まず、全額の方が半額になる方でございますけれども、その人数は30人でございます。

半額だった方が無料になる方と、全額の方が無料になる方とかの人数はちょっとカウントしてないんですけれども、この制度によって無料に移行される方の人数としましては、合計で54名を想定しているところでございます。

○掛布委員 トータル54人と半額になる30人で、84人が軽減されるということだったんですけれども、いわゆる3歳未満児の数、3歳未満児が全員、第

2子以降ではないんですけれども、3歳未満児全体の数というのは、いわゆる認定こども園とか、布袋のぼっぼ園とか、いわゆる民間も入れると、今600人近くになっていると思うんですけれども、そのうちのいわゆる第2子というのは何人なんですか。そのうちの対象者がすごい少な過ぎるような気がするんですけれども。

○こども未来課長　　まず、3歳未満児の入所園児数は全体で514人でございます。そのうち第3子の無料化の際に対象になってみえた方が36名ございまして、今回の制度改正により、新たに84名の方が無料化、無償化等の事業で対象になってみえますので、合計120名の方が第2子以降の方ということで対象になるところでございます。

○掛布委員　　全体で120人ということなんですけれども、今回の県の事業の対象というのは、きょうだいの中で保育園にいる第2子ではなくて、18歳未満の子供の中の第2子、18歳未満の子がいる中の2人目で保育園にいる子供という、そういうカウントだと思うんですけれども、だからお兄ちゃん、お姉ちゃんが小学生になっちゃったら外れちゃうとか、そういうことはないということでしょうか。

○こども未来課長　　この制度の対象の児童数の数え方が18歳未満で同一生計の世帯の方の中を、子供を上から順番にカウントさせていただきますので、今委員おっしゃられた小学校の方とかも、児童数を数える際には、同一世帯の方であれば、含めた上で園児が第何子目になるかというふうで判定するものでございます。

○掛布委員　　それはそれでいいんですけれども、いわゆる所得制限があるのがとても気になって、いわゆる今回、対象が少ないんじゃないのと言って、いや、120人はおりますという話なんですけれども、それでも所得制限で対象外ではじかれて、第2子なんだけれども半額にもゼロにもならないという子供たちは何人いらっしゃるんでしょうか。

○こども未来課長　　すみません、具体的な数字はちょっと持ち合わせておりませんので、今の所得制限の数字で……。失礼いたしました。昨年度の数字で申し上げますと、所得制限が、今でいうと年収930万円を超える世帯の方が今回対象外とはなっておりまして、その児童数としましては、昨年度で

いくと26名の方が対象外という状況でございました。

○掛布委員 930万円のカウントなんですけれども、やっぱり夫婦共働きで同一世帯のケースの場合、父親の市民税、母親の市民税の合算で計算することになるので、本当にはじかれる世帯が、今2人目なのに対象外が26人ということなので、本当に、しかも独り親でも同居の祖父母がいたりとか、同一世帯じゃなくても祖父母から援助を受けているような実態の場合ははじかれてしまう、同じ所得として合算されてしまうというのがあるので、そここのところをもうちょっと、この際の2人目なのでという場合は、もうちょっと配慮ができないのかなと思うんですけど、この点は考えられなかったでしょうか。

○こども未来課長 まず、保護者の方が収入がある方でございますと、状況の場合の祖父母の方は収入には加算はしておりませんので、保護者の方の収入の合計ということで考えさせて、所得としては判定させていただいております。

今後のその対象を、それ以外の方にもというお話かとは思いますが、まず県の制度として実施する上で、また拡充もしてまいりますので、市費のほうの持ち出しも一部発生はしてまいりますので、その状況を見ながらということにはなるんですけれども、現時点で今の県の制度を超えて補助していくということは、市としては今は持ち合わせていない状況でございます。

○掛布委員 今回の県の制度の拡充に合わせて、一宮市の話なんですけれども、双子の場合、もちろん双子の2人のうちの1人が、いわゆるこの制度にかかれば対象になるんですけれども、結局一番しんどい、月額5万円、6万円、というか4万円、5万円と保育料を払わないといけないのが2人分同時に来るわけなので、そこで半額にもゼロにもならないという所得制限に引っかかっちゃったらかわいそうだから、双子の場合は所得制限なしで無料あるいは半額適用するよという、ゼロにするよということをやりますけれども、そういったことも今後拡充していく必要があるんじゃないかなと思うんですけど、どうでしょうか。

○こども未来課長 答弁の繰り返しにはなりますけれども、まずは現状、今回拡充させていただく制度で、どれぐらいの方が、多分今後もしかすると入

所の希望も増えてくる可能性もございますので、そういったものも見させていただきながら、まずは今回の制度の実施ということで、その影響とかも加味していくことで、それ以降のことはそれから検討させていただきたいかと思えます。

○委員長　ほかに質疑はありませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○委員長　質疑も尽きたようでありますので、続いて教育部教育課について審査をします。

当局から補足説明がありましたらお願いします。

○教育課長　それでは、教育課所管の補正予算につきまして御説明申し上げます。

歳出について御説明いたしますので、議案書の88、89ページをお願いいたします。

88ページ中段、10款1項1目教育支援費でございます。補正予算額は7万円でございます。

跳ねていただきまして、90ページ、91ページをお願いいたします。

90ページ上段、10款2項1目小学校費でございます。補正予算額は8億3,482万9,000円でございます。

続きまして、90ページ中段、10款3項1目中学校費でございます。補正予算額は4億5,376万4,000円でございます。

説明は以上です。補足説明はございません。どうぞよろしく願いいたします。

○委員長　これより質疑を行います。

質疑はありませんか。

○片山委員　90ページ、91ページなんですけれども、こちらの体育館の空調工事、設備の工事という形なんですけれども、学校の体育館もですね。この前の議案質疑の中で、工事が大体今1か月ぐらいかかって、中には体育館が利用不可の日も出てくるよねという話で、その日程に関して業者との打合せで決定していくという話なんですけれども、学校がこれだけある、小学校、中学校があつて、順番とかつてある程度は考えてみえるとは思うんですけれ

ども、こういった意向、順番にいくのかというのは全く考えていないのか、考えていないならまだこれからですと言っていただければいいですし、ある程度はこういった順番でいきたいなというのが分かっていたら教えていただきたいなと思ってます。

○教育課長　　体育館の空調工事のスケジュールなんですが、まず議決後に一般競争入札で進めていくんですが、小学校が10校あります。それを2校ずつに分けて5本の工事に出します。中学校は5校で、3校・2校に分けて2本の工事に出していきます。

委員が言われた1か月程度というのは、使えなくなる期間ということには……。

○片山委員　　工事の期間が大体1か月ぐらいかかると、ちょっと私の議案質疑の聞き違いかもしれないですけども。というのは、小学校も中学校も体育館がいろんな行事とか、あとはいろんなママさんバレーとか、いろいろ夜使ってみえるケースも多いもんですから、その件ちょっと聞きたいなと思いまして、はい。どうぞ。

○教育課長　　工事の期間といたしましては7月末、臨時会を経てのことになるんですが、7月末から3月中旬、今年度の完了を目指しておりまして、約7か月半を予定しております。

○片山委員　　今の1か月間って言ったのは、1つの工事、1か所の場所に対しての工事期間が大体1か月と、私そういうふうに聞いた記憶があるんですけども、違ってたらごめんなさいね。

○教育課長　　1か月というのは、先ほども少し申し上げたんですが、アリーナ自体を使用できなくなる期間ということで、室外機だとか配管工事だとか、そういった工事をする際に使えなくなると。

○片山委員　　その1か月というのは、まとめて1か月なのか、ばらして1か月なのか、どちらですか。

○教育課長　　詳細につきましては、事業者が決まって、そのスケジュール感で決めていくんですが、工事、工事で使えなくなる期間が出てくるところです。

○委員長　　ほかに質疑はございませんか。

- 掛布委員 両方の、小学校も中学校も、ガスパイプ工事負担金というのが入っていて、本会議場では、要するに地域のガスパイプをなぶらないと、体育館でガスを大量に使うと地域に悪影響が及ぶということなんですけど、具体的にどこの学校、どこの地域の話になるんでしょうか。
- 教育課長 小学校でいいますと、古知野東小学校、中学校でいいますと、北部中学校と宮田中学校でございます。
- すみません、補足なんですけど、今、答弁させていただいた学校について、負担金が発生するということで、3校については負担金が発生します。
- 工事自体が発生するのは6校ありまして、先ほど言いました古知野東小学校、草井小学校、宮田小学校、布袋北小学校、宮田中学校、北部中学校の6校になります。
- 掛布委員 追加の答弁を聞いて余計分からなくなっちゃったんですけど、いわゆる周辺地域にガスパイプ工事をやらないといけないのが6校で、学校の周辺で、学校の敷地内で負担金が生ずるのが3校、そういう意味だったんですね。
- 教育課長 6校のうち、負担金が発生するのが先ほど申し上げた3校になります。ほかの3校についてはガス事業者のほうでやっていただけると、負担金は生じないということです。
- 掛布委員 今、体育館には、コロナのときに国から来た交付金を使って、大型のスポットクーラーというのが各4台ずつ入っていて、エアコンはないけれども、それでしのいでいる状態なんですけれども、エアコンが稼働するようになった以降、この大型のスポットクーラーというのはどういったふうに使っていく予定があるんでしょうか。
- 教育課長 今、委員から言われたものについては、防災安全課の所有品になりますので、そちらのほうの考えになるかと思います。
- 掛布委員 今回設置していただく空調というのが、いわゆる電源自律型という御答弁があったんですけども、具体的に電源自律型という意味がよく分からなくて、充電、蓄電設備を備えているという、そういった意味なんですか。
- 教育課長 バッテリーが室外機の中に入っているというものになります。

○掛布委員　　そうすると、停電時でも、要するに体育館内の照明やコンセントは少しは使えるよということなんですけれども、今、北部中学校と古知野中学校の体育館の屋根に太陽光パネルが随分以前から設置されていて、その売電収入を得るのをやめるよというのがこの前あったと思うんですけれども、それと今回の、いわゆる太陽光パネルで充電した電気、稼いだその電気をどこかで蓄電して、いわゆる停電時に使うとか、そういった扱いはできないんでしょうか。今回のとは全く別の話で、まるで太陽光パネルはそれだけというふうな話になるんでしょうか。

○教育課長　　全く別なものでして、電気が災害時によく止まるというところはあるんですけど、都市ガスについては供給できるというところで、ガスさえ止まらなければ、今回付加価値としてつける照明だとか、2口の電源コンセントが使えるというものになっております。

○委員長　　ほかに質疑はございませんか。

○大藪委員　　ページ数が89ページ下段です。

このキャリアスクールプロジェクトというのは、毎年やってみえるという。ちょっとこの内容について、例年どおり同じ内容なのか、それとも例えば今年は違った内容をやられるのかという違いがあれば説明をしていただきたいのが1つと、どこの学校を対象にしてみえるかということも説明してください。以上です。

○教育課長　　キャリア教育プロジェクト、今年度は草井小学校が研究モデル校として指定されているわけですが、こちらは県のほうから指定がされます。

今年度の草井小学校の計画書によると、今年はJA職員の方をお招きして、草井小学校の敷地内にある田んぼを利用して、田植から稲刈りまで様々な活動をするというようなことを予定しておると。

過去に遡って申し上げますと、去年は少し事業が違ったんですが、令和5年については布袋北小学校のほうで取組をされておりまして、そのときについては、宮大工をお招きしたりだとか、あと豊田自動織機の社員の方を講師として講義をすると。あとはグループホームジョイフル布袋の方を、こちらは介護福祉士の方なんですけど、そういった方をお招きして、講演会を開催して、子供たちが自ら気づくことを促して、生き方に対する自分の考え方を

深めるような取組をしているということをやっております。

○大薮委員　　ということは、県がもうその講師とかメニューも全部をひもつきで全部一切合財でこの予算が立っているという理解でいいですか。

○教育課長　　補助金だけが県から来まして、あとの取組については、それぞれ学校で考えられて実施されるというものです。

○大薮委員　　ありがとうございます。結構です。

○委員長　　ほかに質疑はございませんか。

○片山委員　　今のキャリアスクールの関連で、今の話だと学校側のほうから手を挙げてやりますというのとは違う。それではない。たまたまじゃあ草井小学校というのは誰が指定するの。県が指定するという。小学校を指定するという、県が。

○教育課長　　こちらについては、小学校対象の補助金になっておりますので、県が江南市の……。

○片山委員　　草井小学校と指定してくるってことですか。

○教育課長　　※
そうですね。

○片山委員　　分かりました。その辺がちょっとよく分からなくて。

○委員長　　ほかに質疑はございませんか。

○掛布委員　　91ページにありますワンセグ携帯で発生するNHKのテレビ受信料の話なんですけれども、説明のときは小学校10台、中学校5台ということだったんですけれども、このワンセグ携帯の今後の取扱いはどうなるのか。

小・中学校に携帯を導入したきっかけというのは、たしか電話代を節約するために、各学校に合計15校で30台携帯を導入したというような記録が残っていたんですけれども、今、ワンセグ携帯15台ということなんで、あと半分はどうなったのかなということで、ちょっと今後の見通しと、携帯が導入された経緯について説明していただきたいと思います。

○教育課長　　まず、携帯電話を導入した経緯でございますが、保護者対応の中で学校の固定電話で対応する機会が増加したと。その中で電話料が上がってきているというところで、令和3年9月から携帯電話を導入することで、かけ放題ということで電話料の削減を図りました。その結果、前年度と比較して約3割程度削減ができた。

※ 後刻訂正発言あり

今後の、今回補正をお願いした携帯電話につきましては、令和3年と令和4年に導入しておりますが、令和3年9月に契約したものについては、議決後に機種変更をして受信機能のないものに変えていきます。

令和4年9月に導入したものについては、今年度9月に機種変更を予定しておりますので、同様に受信機能のないものに変えていくということにしております。

委員から言われた30台につきましては、職員室、同じ部屋で、例えば3台あったとすると、それは1契約でいいということで確認しておりますので、小学校10校、中学校5校というような表現をさせていただきました。

○委員長 答弁訂正の申出がありましたのでお願いいたします。

○教育部長 先ほどのキャリアスクールプロジェクトの学校の選び方についてのお尋ねで、県教育委員会のほうが小学校まで指定するという答弁をさせていただきましたが、ちょっと訂正させてください。

県教育委員会は市町までは指定します。ですから、江南市、来年度お願いしますという申入れがありまして、市教育委員会の中で、じゃあ今年はどこ的小学校にお願いしようかということを経理先生含めて相談して、決定させていただくと、そういった流れでございますので、よろしく申し上げます。

○委員長 ほかに質疑はございませんか。

○大藪委員 質疑というか、ちょっと朝から混乱しているので、これについて答弁は結構ですが、ちょっと今朝の中日新聞の記事等があって、いろいろな問題があります。これについての説明をまた後刻でも結構ですので、していただきたいと思っておりますので、要望だけしておきます。以上です。

○委員長 要望ということで。

ほかに質疑はございませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○委員長 質疑も尽きたようでありまして、続いて教育部スポーツ推進課について審査をします。

当局から補足説明がありましたら申し上げます。

○スポーツ推進課長兼スポーツプラザ所長 それでは、スポーツ推進課所管の該当箇所を御説明させていただきますので、議案書の92ページ、93ページ

をお願いいたします。

歳出でございます。

10款5項1目スポーツ推進費で、補正予算額は23万5,000円の増額でございます。

説明は以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○委員長 これより質疑を行います。

質疑はありませんか。

○片山委員 92ページ、93ページの、テニスコートの、これが、委託から職員へ変更と私聞いてたんですけれども、この職員に変更した経緯ってどういった経緯があったんですか。

○スポーツ推進課長兼スポーツプラザ所長 今回の見直しにつきましては、令和6年度の決算監査、行政監査ですね、こちらのほうの監査委員のほうからテニスコート維持運営費の管理委託料、こちらに当たってはその中の現金の取扱いについてということで、こちらのほうで指摘を受けまして、そうしたことから、今までシルバー人材センターで委託をしておりましたが、公金を扱える私人委託ということでシルバー人材センターと契約ができるかということで協議をしておりましたが、市の方針とシルバー人材センターの職務に対する考え方の中で折り合いがつかず、こちらのほうを委託から、会計年度任用職員に切り替えたという経緯でございます。

○片山委員 そのお金の管理の関係ということでよかったですね。分かりました。結構です。

○委員長 ほかに質疑はございませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○委員長 質疑も尽きたようでありますので、これをもって質疑を終結いたします。

暫時休憩いたします。

午前10時36分 休 憩

午前10時37分 開 議

○委員長 休憩前に引き続き会議を開きます。

議案第65号を採決します。

本案を原案のとおり可決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長 御異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

議案第66号 令和7年度江南市介護保険特別会計補正予算（第1号）

○委員長 続いて、議案第66号 令和7年度江南市介護保険特別会計補正予算（第1号）を議題といたします。

それでは、当局から補足説明がありましたらお願いします。

○介護保険課長 それでは、議案第66号について御説明申し上げますので、議案書の95ページをお願いいたします。

令和7年議案第66号 令和7年度江南市介護保険特別会計補正予算（第1号）でございます。

96ページ、97ページをお願いいたします。

第1表 歳入歳出予算補正でございます。

次に、98ページ、99ページには、歳入歳出補正予算事項別明細書の総括を掲げております。

次に、100ページ、101ページをお願いいたします。

今回の補正予算の歳入でございます。

上段の6款1項5目、繰入金は6万5,000円でございます。

次に、歳出について御説明申し上げます。

下段の1款2項1目介護認定審査会費で、補正予算額は6万5,000円でございます。

説明は以上でございます。どうぞよろしくをお願いいたします。

○委員長 これより質疑を行います。

質疑はありませんか。

○掛布委員 101ページのこれまた公用車2台分のNHKのテレビ受信料ですけれども、これは今後どういうふうにするのでしょうか。

○介護保険課長 こちらのポータブルカーナビ2台分につきましては、NH

Kに確認した事項において、テレビの視聴不可と判断できるのは、アンテナを外してケーブルを切断した状態ということで回答をいただいております、現在使用していますポータブルカーナビにおいて、そのような加工をした場合に壊れてしまう可能性が高いというふうに思っております、今後の買換えのタイミング等において、テレビ受信のできないものを検討していくようなことを考えております。

○掛布委員　　そうすると直ちには対応できなくて、また今後も買換えまでは受信料が発生するという、そういうことなんですね。

○介護保険課長　　今回使用していますポータブルカーナビについては、やはりちょっと加工するのが難しいものになるというふうな判断になりますが、購入して今年度末で3年弱になる機械ではございますが、地図自体は少し5年前のものが反映されるものになっております、そういったところで買換えのタイミングについては検討していきながら、早急にテレビ受信できないものに切り替えることも考えていきたいと思っておりますし、実際に加工することによって受信料を払わない状態になることができないか、改めて確認はしていきたいと思っております。

○大藪委員　　ちょっと近隣市町と比べると、江南市やたらこの値段が高くて、ほかの市町何十万円単位なんだけど、江南市は何百万円と出ていますよね。

これも他市町の実例なんですけど、実際空中線をカットするだけです、要するに。空中線カットだけなので、本体から出ている空中線の線というのはほかの線とは共用していないので、他市町聞くと、市の職員が、詳しいやつがいて、例えば無線免許を持っているとか、そういう人たちがいて、簡単に加工して写真を撮って、これでやりましたでもうオーケーってところが多いんだけど、その辺はしっかり皆さん判断されたんですか。ちょっとお答えください。

○介護保険課長　　極めて詳しい方にまではちょっと確認はできていないのかもしれませんが、分かる範囲で、何人かで確認した中で線を切る、アンテナを外すことは可能だというふうには考えましたが、中の配線のところでこれを切ってしまうと、本体自体が使用が不可になってしまう、不能になってしまうのではないかという、そこの判断がつかないということで、このまま今

のところは使うことを考えたいなと思っております。

ただ、分かる範囲で確認したというところにはなりませんので、詳しい方がいるということであれば、また聞いていくなり、対応はしたいと考えております。

- 大薮委員　　僕は実は、前にも言ったか知らんけど、アマチュア無線の上級資格を持っているんですけど、常識的に考えると、空中線とほかの線が共用されていることはあり得ないので、空中線の部分をカットするだけで、あとは写真を撮って、NHKから疑われるといけないので、こういうふうで受信ができなくなりましたって報告を上げて、それで終わっちゃうんで、ぜひとも、私ではなくて結構ですから専門の方に、どこをどうすればいいんだと。空中線だけなければいいんですよ、要するに。なので、そこだけしっかり調べて、余分なお金を使わないように1回ちょっと調べてみてください。

私からは要望で結構です。以上です。

- 委員長　　要望ですね。ありがとうございます。

ほかに質疑はありませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

- 委員長　　質疑も尽きたようでありますので、これをもって質疑を終結いたします。

暫時休憩いたします。

午前10時43分　　休　憩

午前10時43分　　開　議

- 委員長　　休憩前に引き続き会議を開きます。

議案第66号を採決します。

本案を原案のとおり可決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

- 委員長　　御異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

以上で当委員会に付託されました案件は全て終了いたしました。

なお、委員長報告の作成につきましては、正・副委員長に御一任いただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

年度調査事項について

○委員長　　続きますして、年度調査事項等を協議していただきます。

今年度の当委員会の調査事項及び行政視察について決めていただきたいと思います。

なお、昨年度までの厚生文教委員会の年度調査事項と行政視察の調査先を一覧表にしてタブレット端末に配信してありますので、参考にしてください。最初に年度調査事項を議題とします。

御意見はありませんか。どうですか。あるでしょうか、ないでしょうか。思考中ということで。

〔挙手する者なし〕

○委員長　　御意見がないようでありますので、今年度の当委員会の調査事項は、少子化対策・子育て支援について、介護保険・地域福祉について、健康・医療行政について、教育行政について、生涯学習行政について、その他、当委員会の所管する事項とすることで御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長　　御異議もないようでありますので、今年度の当委員会の調査事項はそのように決定させていただきますので、よろしくお願いたします。

また、ただいま決定いたしました事項については、会議規則第111条の規定により、閉会中の継続調査として議長に申出をしていきたいと思ひます。

行政視察調査日程について

行政視察の調査先及び調査項目について

○委員長　　続きますして、行政視察調査日程を議題といたします。

日程案について、事務局より説明をお願いします。

○事務局　　案といたしましては、A案10月6日月曜日から10月8日水曜日までと、B案10月14日火曜日から10月17日金曜日までと、C案10月20日月曜日から10月22日水曜日までの3案となっております。

この中から何泊何日で実施されるのかをお決め願いたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○委員長　ただいまの説明による3案につきまして、御意見などございますか。

○伊藤委員　これは事前にちょっと調整させていただきまして、C案のほうに決定させていただきますので、調整をして皆さんの御意見を聞いていますので、よろしく願いいたします。

○委員長　では、C案の10月20日月曜日から10月22日水曜日までの期間で実施し、そのうちの何日間で行うのか決めていただきたいと思います。

いかがでしょうか。1泊か2泊。

○長尾委員　この後、視察先を検討することになると思うんですけど、その内容によって、近い地域で数あれば2泊3日という形で、それが最大の日程だと思いますけど、実施していただいて、数が少ないようであれば2回に分ける。昨年度等もありましたけれども、日帰りを入れたり、日程を分けてやればいいと思いますので、まず最初の部分は、まず数が出てから別途検討という形で、それを正・副委員長に一任したいと思います。

○委員長　それでよろしいでしょうか。

〔「結構です」と呼ぶ者あり〕

○委員長　それでは、その視察先を正・副委員長一任で決めたいと思います。

○掛布委員　視察先で検討していただきたいのが1か所ありまして、今、江南市も含めて不登校児童・生徒の激増というのがどこの市町でも大きな課題になっていますけれども、その中で自治体が主導的にとてもいい教育支援センター、前の適応指導教室ですけれども、それを運営しているところとして、栃木県の高根沢町のひよこの家というのがある。

本当にもう随分以前から学校に戻すことは考えないで、その子その子の不登校児童・生徒の居場所として過ごせる場所ということで、自治体主体的にやっているとてもいい事例だということを聞いておりますので、ぜひ一度、これまでの視察場所を見ても、不登校対策で行った経験はないので、ぜひ御検討いただけたらと思います。よろしく願いいたします。

○委員長　貴重な御意見ありがとうございます。

○長尾委員　　今、掛布委員の関東地方の自治体の事例を見たいという話だったんですけど、そういう話であれば併せて、関東地方のほうで学校給食のほうで、有機野菜を使った学校給食を出している自治体が幾つかあるのを確認しております、ではそれも含めてそういう有機野菜を使った学校給食を提供しているような先進事例とかがあれば併せて、特に関東地方なんかで野菜どころというか、食どころである栃木であったり埼玉であったりというところが多分あると思いますので、そういうところをちょっと一度あれば見に行きたいなと思っておりますので、よければね。全然市を挙げて取り組んでいるところもあるという話も聞いていますので、そういうのを見るといいかなと思っております。

一度御検討いただければと思います。

○大藪委員　　長尾委員、ちょっと1つ、こういう質問でもいい。

全校的に、全市でやる、給食で出しているのか、各学校、学校でやっているのか、それをちょっと。

○長尾委員　　全市。

○大藪委員　　オーケーです。ぜひ見たいです。

○委員長　　ほかに御意見はございませんか。

〔挙手する者なし〕

○委員長　　ただいま御意見をいただきましたが、視察先の都合もありますので、出された御意見を踏まえ、正・副委員長において調整を図り決定していきたいと思っておりますので、行政視察の調査先については正・副委員長に御一任いただきたいと思っておりますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長　　御異議もないようでございますので、行政視察の調査先についてはそのように決めさせていただきますので、よろしく申し上げます。

当委員会の研修会について

○委員長　　続きまして、今年度の当委員会の研修会を議題といたします。

研修会の日程、テーマ、講師などについて御相談したいと思います。日程

は議会、会議や視察がないところになるろうかと思えます。

また、講師の都合もありますので、本日はまず研修テーマについて何か適切なテーマや講師を御存じでしたら御発言いただきたいと思えます。

何か御意見ございませんか。

○大藪委員　　せっかく先ほどの不登校対策ということが出てきましたので、それについてというのが研修等、私の記憶の中で受けた経験がないので、例えば近くでしたら、先ほどの掛布委員が言われたとおり、学校へ行かなくてもいいという前提でやっているところで、近所で犬山市がそれをやっているの、犬山市のそれを仕掛けている職員は、もともと江南市民ですから、その方に来ていただいて講師をしていただけるといいかなと僕は思っていますが、いかがでしょうか。

○委員長　　ただいまの犬山市の多分わいわいですよ、などの施設だと思っ
んですけれども、意見が出されました。

ほかに御意見ございませんか。

[挙手する者なし]

○委員長　　それでは、また何か御意見や御提案がございましたら、正・副委員長までお知らせください。9月の委員会の折に、皆様方の御意見、御提案などを踏まえて改めて御相談いたします。

以上で、本日の委員会の議題は全て終了いたしました。

当局におかれましては、委員から出されました御意見等を十分参考にされ、執行に当たられるよう要望いたします。

本日は、委員の皆様方、当局の皆様方、非常に活発な議論、あるいは答弁をいただきまして、誠にありがとうございました。以上です。

当局より挨拶をお願いします。

○教育長　　それでは、一言ご挨拶申し上げます。

本日の委員会におきましては、慎重に御審議をいただきまして、誠にありがとうございました。

当委員会に付託されました諸案件につきましては、全てお認めをいただきましたことに対しまして、厚くお礼を申し上げます。

委員の皆様方から多数賜りました御意見、御指導に対しましては真摯に受

け止めまして、今後の行政遂行に活かしてまいりますので、これからも御指導御鞭撻をいただきますようお願い申し上げまして、お礼の御挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

○委員長　これもちまして、厚生文教委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。

午前10時54分　閉　会

江南市議会委員会条例第29条第1項
の規定によりここに署名する。

厚生文教委員長 牧野行洋